

みずほCustomer Desk Report 2019/08/22号(As of 2019/08/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.37 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.29	1.1098	117.96	1.2164	0.6774
SYD-NY High	106.64	1.1107	118.33	1.2173	0.6799
SYD-NY Low	106.24	1.1080	117.95	1.2112	0.6773
NY 5:00 PM	106.62	1.1085	118.20	1.2123	0.6781

NY DOW	26,202.73	240.29	日本2年債	-0.3000	▲1.00bp
NASDAQ	8,020.21	71.65	日本10年債	-0.2400	0.00bp
S&P	2,924.43	23.92	米国2年債	1.5734	6.51bp
日経平均	20,618.57	▲58.65	米国5年債	1.4727	4.56bp
TOPIX	1,497.51	▲9.26	米国10年債	1.5902	3.89bp
シカゴ日経先物	20,685	200	独10年債	-0.6745	1.80bp
ロンドンFT	7,203.97	78.97	英10年債	0.4735	2.35bp
DAX	11,802.85	151.67	豪10年債	0.9280	▲1.20bp
ハンセン指数	26,270.04	38.50	USDJPY 1M Vol	7.57	▲0.24%
上海総合	2,880.33	0.33	USDJPY 3M Vol	7.49	▲0.11%
NY金	1,515.70	0.00	USDJPY 6M Vol	7.33	▲0.10%
WTI	55.68	▲0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.63	Yen Call Over
CRB指数	170.91	0.01	EURJPY 3M Vol	8.16	▲0.09%
ドルインデックス	98.30	0.11	EURJPY 6M Vol	7.95	▲0.03%

アジア	東京時間のドル円は106.37レベルでオープン。米長期金利が1.57%台後半まで持ち直したことを手がかりにドル円はじり高に推移し、一時106.55まで上昇。その後は106円台半ばで動意薄の推移に終始し、結局106.48レベルでロンドンへ渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.39レベルでオープン。米金利持ち直しからドル円は106.60まで上昇。23日のジャクソンホールでのパウエルFRB議長講演を控える中、ドル円の上値は重く推移し106.49レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2141レベルでオープン。英EU離脱交渉における英首相やEU大統領、独首相発言に関するヘッドラインに振られる展開が続き、同交渉先行きが懸念される中、ポンドは方向感なく狭いレンジで推移し、1.2131レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米10年債利回りが1.6%手前まで持ち直したことから、106.60まで買い戻される。その後、金利上昇が一服するとドル円も小幅反落し、106.50レベルでNYオープン。14時にFOMC議事録の発表が予定されている中、様子見ムードが強く、朝方発表された米7月中古住宅販売件数は予想を下回ったものの、ドル円の反応は限定的だった。トランプ米大統領の「おそらく中国と(通商協議で)合意できるだろう」との発言を受けて、106.59をタッチする場面もあったが、106.50近辺の狭いレンジでのみ合いが続く。FOMC議事録の発表直後に再び106.59をつけるが、「当局者2名が50bpの利下げを支持した」とのヘッドラインにドル売りで反応し106.42まで反落。しかし、「大半が7月の利下げはサイクル半ばの調整と判断した」と明らかとなり、市場の予想ほどハト派ではないとの見方に、ドル買いが先行し、106.64まで上昇し、106.62レベルでクロス。一方、前日のコッテ伊首相が辞意表明に対して、欧州株や欧州債券への反応が限定的だった中、海外市場のユーロドルは1.1100近辺の狭いレンジで推移し、1.1103レベルでNYオープン。様子見ムードが強い中、朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、狭いレンジで推移。FOMC議事録の発表直後は、ドル買いで反応し、安値1.1080をつけるが、一部当局者が50bpsの利下げを支持したことが伝わると、高値1.1105まで反発上昇。議事録発表直後の売買が一巡すると、議事録の内容が予想ほどハト派でないとの見方が強まり、ドル買い優勢となり、1.1082まで下落し、結局、1.1085レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 山本・小笠原

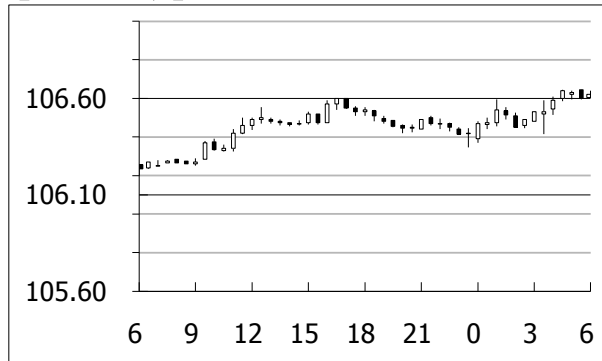
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月21日	21:30	加 CPI(前年比)	7月 2.0%	1.7%
	21:30	加 CPI	7月 137	136.6
	23:00	米 中古住宅販売件数	7月 5.42m	5.40m
8月22日	07:30	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

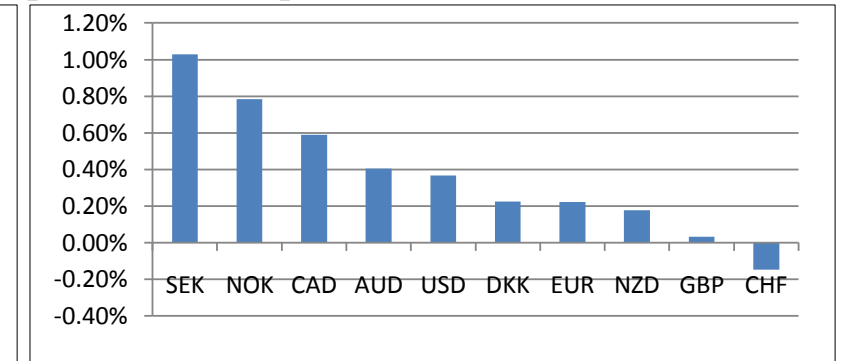
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月22日	16:30	独 マークイット製造業PMI・速報	8月 43.0	43.2
	16:30	独 マークイットサービス業PMI・速報	8月 54.0	54.5
	16:30	独 マークイットコンポジットPMI・速報	8月 50.6	50.9
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	17-Aug 216k	220k
	22:45	米 マークイット製造業PMI・速報	8月 50.5	50.4
	22:45	米 マークイットサービス業PMI・速報	8月 52.8	53.0
	22:45	米 マークイットコンポジットPMI・速報	8月 -	52.6
8月23日	03:30	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.20-106.80	1.1040-1.1140	117.70-118.70

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は小幅上昇。米長期金利が一時1.6%台を回復したことでドル円は106.60円台まで上昇。NY時間に発表された米7月FOMC議事録では、「当局者2名が50bpの利下げを支持した」とのヘッドラインに一時106.42円まで下落。しかし「大半が7月の利下げはサイクル半ばの調整と判断した」と明らかになっており、今般の利下げを長期的な利下げサイクルの一環と捉えていないことが示唆されたことで、市場予想ほどハト派寄りでなかったことがより明確となり、ドル買いが先行、ドル円は一時106.64円まで上昇した。本日のドル円は明日にジャクソンホールでのパウエルFRB議長の講演を控え、動意薄の展開になるものと予想。引き続き米中通商交渉の動向には注視したい。